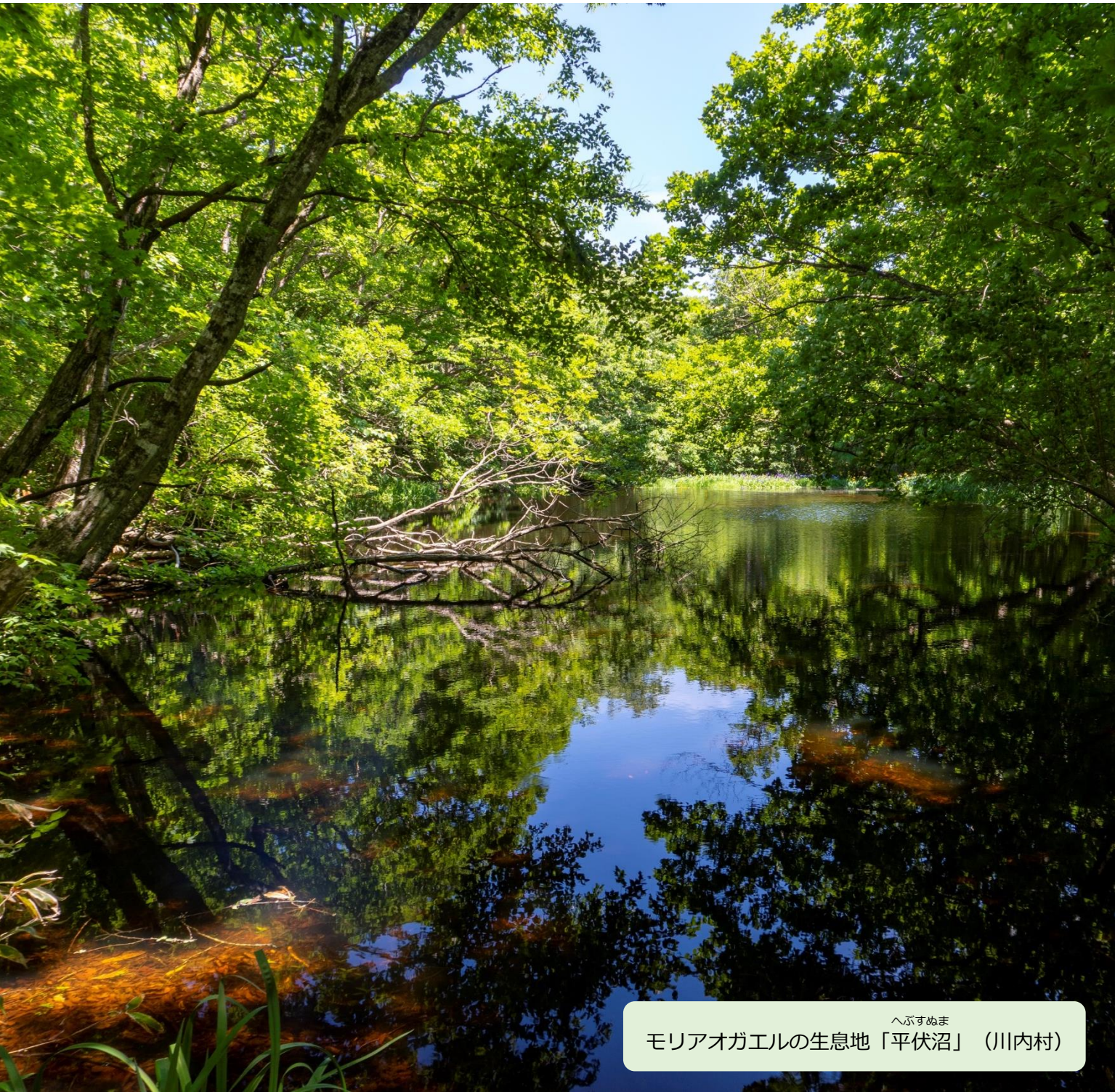


1～4号炉は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取り組みをお知らせします。

■ 本号の内容

2024年8月1日 発行

- 発電所の業務をご紹介します
- みなさまのご質問におこたえします
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- 食で応援！社員食堂『常磐もの』メニュー
- みなさまの声をお聞かせください
- 発電所データBOX



へぶすぬま
モリアオガエルの生息地「平伏沼」 (川内村)



みなさまの声をお聞かせください
こちらのメールアドレスにてお待ちしております。
fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。
<https://www.tepcoco.jp/2f-np/index-j.html>

東京電力では、安全・品質を向上させるための活動として、現地・現物を重視した「カイゼン活動」に取り組んでいます。

この取り組みは主に「トヨタ式カイゼン手法*」に則って進めており、社内指導員の指導を仰いだり、他部門や他産業の良い事例を積極的に取り入れることで、コスト削減や生産性の向上に寄与しています。

カイゼン室は、カイゼン活動を発電所内に定着させるため、各グループの活動への支援を行うとともに、指導会やカイゼン教育などを通じて、カイゼン活動の仕組みの構築に取り組んでいます。

*トヨタ自動車が生み出した生産方式やマネジメント手法。作業や業務の中にあるムダを排除し、生産性や品質を向上させるカイゼン手法。



指導会にて社内指導員から指導を仰いでいる様子



カイゼン活動発表会の様子

発電所のカイゼンを支え、牽引して行く

－業務について教えてください

私は総括チームのメンバーとして、発電所内のカイゼン活動の統括を担当しています。具体的には、新任のマネージャーやチームリーダーを対象としたカイゼン教育の取りまとめや、カイゼン活動発表会の開催などを通じて各グループの活動の支援をしています。

また、一般管理業務などの机上業務を中心に、実際のカイゼン活動にも参加しています。

－業務を行う上で心がけていることは

自身で経験したことのない業務の取り組みに対して、支援や助言をすることに難しさを感じていますが、未経験だからこそその視点で業務の全体像を捉えるように心がけています。

また、助言だけで終わることのないよう、自分自身も担当するグループの立場に立ち、活動に対する悩みに寄り添えるよう、一緒に考えることを意識しています。



福島第二原子力発電所 カイゼン室
もり なな
森 奈々 (浪江町出身)

みなさまのご質問におこたえします

Q. 福島第二原子力発電所の当直員はどんな仕事をしているの？

A. 当直員は、使用済燃料の安定冷却を継続するために24時間体制（5班4名体制）で、中央制御室での監視や現場機器の巡視・操作を行っております。
当直員は、地域のみなさまに安心していただけるよう、ヒューマンエラー防止に努め、責任感を持って業務を行っております。



作業前の打ち合わせ



現場制御盤での操作



現場巡視での状態確認



中央制御室でのデータ採取

日々の点検や操作については、指差呼称などの基本動作を徹底し、業務を実施しております。自分の行動に責任を持ち、地域のみなさまに安心していただけるよう、発電所の安全を守る一員として、安全最優先で業務に取り組んでまいります。

施設運用第一グループ えんどう こうすけ
自主保安（1・2号）チーム 遠藤 航介（いわき市出身）



ヒューマンエラーを起こさないよう、指差呼称を確実に実施し、作業を進めています。地域のみなさまが不安に感じることはないよう、安定した使用済燃料冷却のため、設備の機能維持に努めてまいります。

施設運用第一グループ あら ふみや
自主保安（3・4号）チーム 荒 郁哉（相馬市出身）



当直員の想い

発電所構内の空間線量

（単位はマイクロシーベルト毎時）

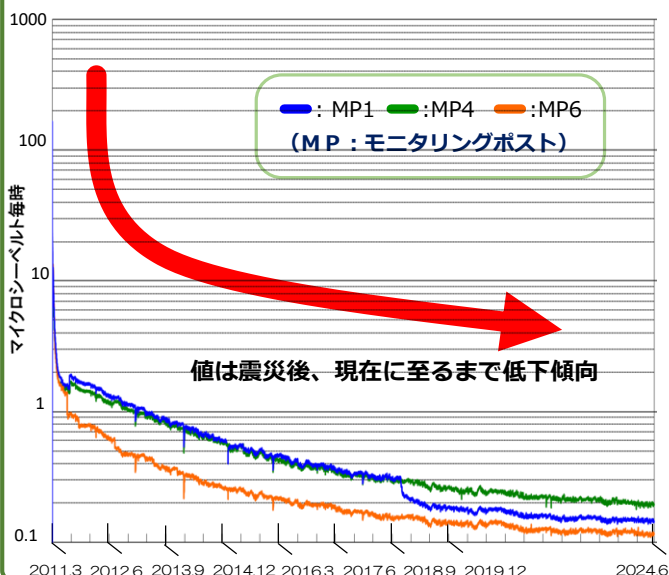
発電所構内のモニタリングポスト計測値（MP1～7）

2024年7月21日 時点

0.07 [MP7] ～ **0.21** [MP5]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向

震災から現在まで（2011年3月16日～2024年6月30日）



参考データ（単位はマイクロシーベルト毎時）

発電所周辺町村の空間線量

富岡町（文化交流センター）機器調整中	楢葉町（役場）	0.07
広野町（役場）	0.06	川内村（役場）
		0.05

出典：福島県放射能測定マップ（市区町村別線量率一覧）より（2024年7月21日 時点）

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス（アメリカ）	0.10	ソウル（韓国）	0.12
上海（中国）	0.59	ロッテルダム（オランダ）	0.33

出典：Safecast（福島県放射能測定マップ）より

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて原子炉から取り出し、1～4号炉の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体	2,482体	2,544体	2,516体
1号炉	2号炉	3号炉	4号炉

食で応援！社員食堂『常磐もの』メニュー

国産水産品などの消費拡大を目的に、食堂運営委託先企業さまと連携し、福島県産の「常磐もの」や野菜をふんだんに使用したメニューを2023年11月から社員食堂で提供しています。これまで用意したメニューは、ほぼ完売で、行列をつくるほどの人気ぶりでした。ALPS処理水放出を開始して、間もなく1年を迎えるところですが、新たな風評を生じさせないとの強い覚悟を持ち、引き続き私たちにできることを考え、最大限取り組んでまいります。



『常磐もの』提供日に食堂に並ぶ社員と協力企業職員



アジフライ (久之浜漁港)



アンコウの唐揚げ (小名浜港)



カレーの煮つけ (久之浜漁港)

*** これまでのメニュー ***

- アジフライ (久之浜漁港)
- カレーの煮つけ (久之浜漁港)
- アンコウの唐揚げ (小名浜港)
- サバの塩焼き (小名浜港)
- 帰ってきたアジフライ (小名浜港)
- スズキのムニエル (小名浜港)
- キンメダイの開き (小名浜港)
- さんまの開き (小名浜港)

担当者からのひとこと

初めての取り組みということもあり、まとまった数を調達するため、委託先企業さまによる新たな取引先の開拓などの苦労がありました。当グループでは、一人でも多くの方に食べていただけるよう、宣伝ポップの作成やアンコウの帽子をかぶり、呼び込みに力を入れました！

おおわだ ゆうと
労務人事グループ 大和田 優翔 (いわき市出身)



みなさまの声を聞かせください

「福島第二原子力発電所からのお知らせ」をご覧ください、ありがとうございます。

今後の広報紙づくり等のため、ご意見・ご要望など、みなさまの声を是非お聞かせください。



こちらのメールアドレスにてお待ちしております。

fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)

※いただいた内容は、広報紙づくり等の参考にすることを目的としており、それ以外の目的での使用はいたしません。

発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,353人※です。(2024年6月1日現在)
※1日あたりの入構者数は約950人

	東京電力HD	協力企業	合計
県内	356人	1,759人	2,115人 (90%)
県外	54人	184人	238人 (10%)
合計	410人	1,943人	2,353人 (100%)

編集後記

福島第二原子力発電所に着任してから、早いもので、4度目の夏を迎えました。生まれ育った浜通りの夏は過ごしやすく、毎年夏休みには、埼玉に住む妻と小学生の娘を遊びに連れてくることが我が家の恒例行事となっております。今年も夏のイベントや海水浴など、娘の夏休みの思い出の一つとなりました。



福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全・安心を第一に廃止措置を進めてまいります。



Facebook.com/OfficialTEPCO



@TEPCO_Nuclear

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
〒979-0695 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12
TEL 0240-25-1353 (受付時間 (平日) 午前9時～午後5時)
fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)